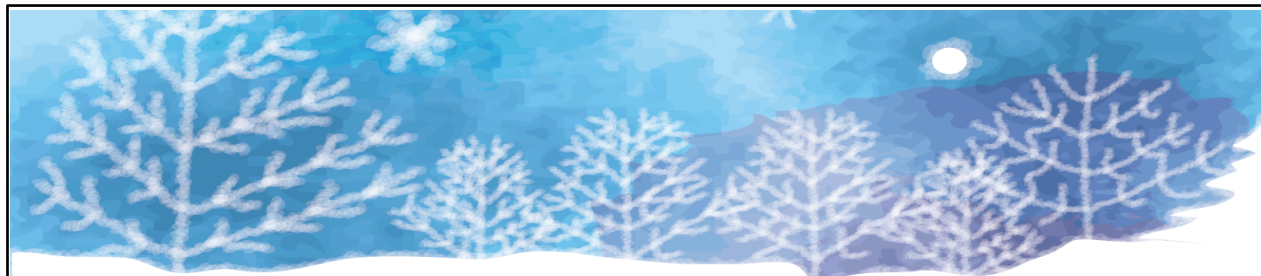


ともしび通信



クリスマス & キャンドル 礼拝

12月23日(日) 12月24日(月)
AM 10:30~12:00 PM 7:00~ 8:00
PM 4:00~ 5:00

チェロと
ピアノによる
クリスマス・賛美
コンサート ♪

11月25日(日)
PM 2:00~3:45

<開場 1:40> 入場無料

吉田博子(チェロ) 藤井みどり(ピアノ伴奏)



※ お車でのご来場はご遠慮下さい。アクセス案内、プロフィール等は教会 WEB サイトで公開中です。

町田バプテスト教会
町田市つくし野 2-31-4 【TEL】042-796-3822

集会のご案内

教会の活動はホームページでもご紹介しています。
<http://goodnews194.com>

日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減になっている顔と心。天を仰いで生きる元気を取り戻して下さい。

毎日曜

I 礼拝 10:30~11:50

II 礼拝 16:00~17:00

(11/25, 12/16 の II 礼拝は
お休みさせていただきます)



教会学校 (CS)

幼児から大人のクラスで聖書を学んでいます。ジョイジョイサンデーを月1回、開催しています。

毎日曜 9:00~10:00

毎月1回開催

ジョイジョイサンデー

(こども・中高生対象)

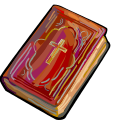


水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに礼拝して、メッセージに耳を傾けます。聖書を順番に学んでいるので、聖書を知りたい方に最適です。

毎水曜

19:30~21:00



壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集会や教会カフェ、日帰り温泉などサークル的な活動もあります。

毎月第2日曜

13:30~15:00



婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えている課題を話しあい、喜びも困難も分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜

13:30~15:00



青年会

青年たちが、月1回、ともに集まり賛美をし、語り合い、祈り合う集いです。聖書の学びも定期的に行っています。

毎月第2日曜

13:30~15:00



子育てサークルハンナの会

ハンナの会は、子育てに疲れ、悩んでいるママに元気を与える会です。お子さまと一緒に楽しむ時間もあります。昼食付き。

毎月第4火曜

10:30~13:00



トールペイントサークル

賛美とメッセージのひととき。花を描きながら心を解放するひととき。お茶を飲み、語らうひととき。

毎月第1水・金

10:00~12:30



木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性たちがあつちのまの自分でいられる場所。希望と勇気が与えられる時。

毎木曜

10:30~12:00

(第2木曜は婦人礼拝)



- ・どの集会も参加自由です。お気軽にお越しください。
- ・質問や相談ごとは、どんなことでもお尋ねください。
- ・送迎の必要な方は、ご遠慮なくご連絡ください。

編集後記

「ともしび通信 89号」(クリスマス号)をお届けします。教会では、クリスマス直前 11/25 にコンサートを開催します。ぜひ足をお運びください！クリスマス礼拝もなたでもお越しいただけます！



単立 町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4

042-796-3822

●<http://goodnews194.com>

●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)



救い主の誕生

「しかし、もし私たちが自分をさばくなら、さばかれることはありません。」
〔リント人への手紙第一 11章31節〕

あつと言つ間に月日が経ち、教会では「救い主の誕生・クリスマス」を祝う準備が始まりました。

今年の日本ほど、政治・経済・会社等のあらゆる分野で、不正や偽りがニユースになった年はなかったように思います。人間は誰でも罪あるものですから、不正や偽りを犯す素質を持っています。ただそれを、何かの機会に実行してしまうか、思い止まるかの

違いは大きいものです。思い止まる力は何処から来るのでしょうか？

それは、その人が明確な基準神の教へと、神の赦しと助けを持っているかどうかに大きく影響されます。イエス・キリストは、今から2000年前、すべての人々の罪を赦すために身代わりに十字架にかかる模範として、この世に誕生されました。もちろんイエス・キリストを信じたからと言って、直ぐに罪を犯さなくなるわけではありませんが、誘惑された時、確実に自分を顧みることが多くなり、少しずつ変えられていきます。これはキリスト教2000年の紛れもない事実です。



あなたもこの機会にぜひ教会に集われ、幸いな人生を自分のものとしてくださいますようお願いしています。

心待ちにする時間(とき)

「それゆえ、主はあなたがたに恵もうと待つておられ、あなたがたをあわれもうと立ち上がられる。主は正義の神であるからだ。幸いなことよ。主を待ち望むすべての者は。」(イザヤ書30章18節)

私たちの教会では、毎年クリスマス行事を行っています。個人的に一番印象に残っているのは「こどもクリスマス会」です。私がまだ幼かった時、仲良くなったお友達と、小学校の学芸会並みの指導(?)を受けつつ降誕劇を演じたり。大人の皆さまが本気で準備してくださった手品等の出し物を見たり。年に1回、その時間を待ち遠しく思っていました。(今年も12月16日の午後2時より行われます)

時が経ち、教会学校に通っていた私は教会の中で育まれ、一社会人となりました。そして今もクリスマスに心待ちにしています。特に賛美のひとときを楽しみにしているのです。

ディズニースト等デイズニースト等でBGMとして流れている音楽の多くはキリストの降誕を歌った賛美歌です。弾んだリズムと感動的なメロディには私たちの心待ちにするモノが与えられた喜びが込められているのでしよう。教会ではその歌詞によって、本当のクリスマスの意味を歌いあげます。待ちに待った時に、心から歌いたいと思います。



牧師室より 松本俊雄 牧師

私的映画批評
『15時17分、パリ行き』
(2018年米作品)
松本勇哉

今年公開ですが、衝撃的な映画体験だったためご紹介。監督はクリント・イーストウッド。映画監督としても、抜群の才能がある彼の最近のテーマは「普通の人がすごいことをする話」。

2015年、パリ

行きの高速列車内で、テロ事件発生。

銃を持った犯人に立ち向かい、多くの命を救ったのは3人の若者だった。ただ今作はただの再現映画ではない。3人の若者が本人役で出演し主演しており、テロ事件のシーンは事件に遭遇した人達を集め、同じ場所で撮影しているのです。

まず、この臨場感



に、度肝を抜かれます。しかも、ストーリーは、3人が中学生の頃に出会うところから、始まるのです。普通の若者達が、出会い、別れ、努力しても挫折するさまが丁寧に描かれる。そんな彼らが、なぜ「重大な瞬間」に「正しい判断」ができたのか。この作品を通して、イーストウッドは、観客に問いかけているように思います。

「僕を平和の道具にして下さい」

このセリフは、主人公の一人が中学生の頃、寝る前に神様に祈っていた時のセリフです。ぜひ、この作品を見て答えを探してみませんか。

★この映画をオススめる人★
普通の人、初めて努力したこと失敗した人

婦人会リレー アナタに出会えて嬉しい



谷 奈緒美

私が町田バプテスト教会に通い始めたのは今から9年前、母が亡くなってからです。

突然亡くなってしまった母の姿を探すように母の通っていた教会に行くようになりまし。子供もまだ小さく仕事もしており、母に頼っていた分、私は呆然としてしまっていたと思います。そして毎日不安と寂しさで押しつぶされそうでした。

そんな時、教会で母と親しくしてくださっていたご婦人がたが、私のことや子

供のことを本当に親身になって心配してくださり、励ましたり、アドバイスをくれたり、毎日のようにメールをくれたり・・・不安と寂しさでぽっかりあいた穴を埋めてくれました。私にとって、実の姉ができたようで、心が満たされた温かい気持ちになりました。今でも覚えていいます。

そんな姉たちは今でも私に、妹の様に接してくれます。これは母が最期に送ってくれたプレゼント！神さまが母を通して会わせてくれた姉たちがいる家族のような教会に今も子供たちと通っています。いつか私もそんな素敵な姉になれるように。

シリーズ 私のお気に入り



井林 周英

私が現役の頃、何回も体調を崩して入院を繰り返していました。大腸全摘の手術があり、別の部位のがんの摘出手術も行いました。その間一貫して毎週電話をくれて、聖句を読み、一緒に祈ってくれた友がいました。その時思ったのは「自分の友人・知人が将来病に倒れた時は、自分がどんなに忙しくても体力の許す限りお見舞いに行こう」という思いでした。

数年前、旧知のH君から、突然電話がかかってきました。彼は私が藤沢市の教会に通っていた時は、一緒に礼拝をしていました。私が引越してしまいましたが、ほとんど交流がない状態でした。「井林さん、私は悪性がんになってしまいました。」そりゃ大変だ

ということ、直ぐに私はお見舞いに伺いました。それから、彼が亡くなるまで、病院や家庭を訪問し、ラインでメッセージのやり取りをしていました。その間に、私もがんの宣告を受けてしまいました。私が手術を受けた時、彼は病気を患っている身であるにもかかわらず、お見舞いにきてくれました。

ある時、彼のお嬢様から言われた言葉があります。「父と色々話して下さってありがとうございます。そのおかげで父親はガラリと人間が変わり、父と娘の間にあった今までのわだかまりについて謝罪がありました。」彼の心にその変化を下さったのは神様ですが、その変化を私が証人として一緒に経験させていただけなのは、非常に感謝なことでした。彼は平安のうちに昨年夏に救いの確信を持って天に召されました。(遺稿「メンター」の勧め)より引用。執筆者は、本年7月に召天